『ＡＩ革命の光と闇』（小川進著　緑風出版）を弾劾する

小川進　殿

緑風出版　代表取締役　高須次郎　殿

２０２６年6月１８日

無実の政治犯　星野さん大坂さん全国救援会

東京都港区新橋２－８－１６　石田ビル４階

事務局長　小泉義秀

TEL 03-3591-8224　Email hoshinoosaka@ymail.ne.jp

記

今年３月２０日に緑風出版から出版された小川進氏の著作『ＡＩ革命の光と闇』は、１９７１年の渋谷暴動闘争での「中村巡査殺害」の主犯が星野文昭さんであり、また大坂正明さんも「殺害の実行犯」であると、事実に基づかないデマを書き連ねています。私たちは長年にわたり星野さん、大坂さんの救援運動を担ってきた者として看過することはできません。

星野文昭さんも大坂正明さんも、「機動隊員への殺人罪」について完全に無実です。１９７１年の沖縄闘争は「米軍基地即時無条件全面撤去、ペテン的沖縄返還協定粉砕」として沖縄で島ぐるみの闘いが爆発しました。これに連帯する本土の青年労働者と学生の闘いが渋谷暴動闘争として、機動隊の弾圧を蹴散らし、万余の労働者民衆と合流して闘いぬかれました。これに恐怖した国家権力が、デモ隊のリーダーとみなした星野文昭さんらを報復的に「殺人罪」にでっち上げ、運動の圧殺を目論んだのです。星野さんも大坂さんも、この明白なでっち上げ弾圧と人生をかけて闘いぬいてきました。星野さんは獄中４４年、非転向を貫き獄死しました。大坂さんは一審懲役２０年判決と対決し、無実を訴え現在控訴審を闘っています。小川氏の本は、こうした事実に踏まえず、星野さんや大坂さんの人生をかけた闘いを著しく侮辱するものです。国家権力のでっち上げと一体で闘いを圧殺しようとする試みに、深い憤りを覚えます。

かつて星野弁護団から預かった資料を返却することなく、再び私的に流用し、星野・大坂弁護団に何の断りもなくこのような本を出版すること自体が非常識で、許されないと考えます。著者の小川進氏と、出版した緑風出版に対し、下記の通り要求します。

１、緑風出版は『ＡＩ革命の光と闇』を書店から回収し、絶版にすること。また緑風出版のホームページへの掲載を取りやめ、独自ルートでの販売も行わないこと

２、緑風出版は新聞に掲載した宣伝広告と少なくとも同等の大きさの謝罪広告を掲載すること。その広告は、緑風出版と著者である小川進氏の連名で行うこと

３、緑風出版は、ホームページ上で『ＡＩ革命の光と闇』の絶版を告知し、理由として星野文昭さん、大坂正明さんについて事実に基づかない内容で名誉を傷つけた旨を掲載すること。発売から３か月経過していることを踏まえ、最低３か月間、ホームページに掲載すること。

４、緑風出版と小川進氏は、星野文昭さんと大坂正明さんについて事実に基づかないデマで名誉を傷つけたことを認め、星野暁子（故・星野文昭の妻）さんと大坂正明さんおよび両名の弁護団に謝罪すること

５、小川進氏は、星野弁護団から預かった裁判資料の全てを返却すること。パソコンや記憶媒体に保存したこれらのデータは全て消去すること

６、小川進氏は、弁護団に無断で裁判資料を私的に流用し、抗議を受けてなお渋谷暴動闘争について書籍を出版したことを星野暁子さんと弁護団に謝罪すること

７、上記について２０２６年７月３１日までに実行すること

以上